

## もう一度初めから その5

「もう一度初めから」は、あるいはできない相談なのかもしれません。ゲームセットの後で、もう一度初めからと望んだところで、もう一度できることはないのが当たり前だし、つながっていく、時の流れを巻き戻すことなんて到底できるものではないことは重々承知しているところです。

特に、人間関係や、契約関係や、国と国との関係性など、一度失った信頼を取り戻すためには、長い時間が必要となるのは当然であり、それだからこそ様々な配慮をもって一つ一つを積み上げていくことが大切なのでしょう。

それなのに、もう一度初めからと軽々にできることを述べては、周囲への配慮も事欠き、独り相撲となる危険も相当あると考えます。

しかし、そんな中でも、「もう一度初めからやり直してみようよ」と、言うことが大切な場合も多々あるのです。心凍らせて、1人だけの時間しか過ごせなくなった友達や、大事な人を心ならずも失ってしまった人、大きな障害を前にして一歩も歩めなくなってしまった人など、「もう一度初めからやり直してみようよ」といわなければならないこともあるのです。

「今からではもう間に合わない」「途方に暮れているだけだ」「歩き回る当てもないほど信用を失った」「立ち上がることもできず疲れてしまった」そんな人も中に入るので、「もう一度初めから」と声をかけずにはいられないときはそう言ってあげることができることによって、その人なりにもう一度自分のことを考えてみることもできるのだと思うのです。

もはや、60歳になって今更戻れないことは重々知りながらも、60歳の手習いでもいいじゃないかと考えます。やれることがあれば、やってもいいと考えることができれば、もう一度初めから始めてみましょうよ。

案外、昔取った杵柄とか、三つ子の魂百までといったことにふっと突き当たることができて、救われることもあるでしょう。

特に、生徒諸君のようにまだまだ若い皆さんであるならば、たった一つの道だけの固執せず、いろいろな可能性を探る時期もあってよいのだと考えます。60歳になった時に、少し心に余裕をもって過ごせる生活であるなら、新しいことにも挑戦できる生活であるなら、心が落ち着きますよね。

20歳、30歳、40歳、50歳という時代もそれなりに谷あり山ありです。70歳になっても80歳になっても90歳になっても、谷あり山ありでしょう。そんな時代になっても、もう一度初めからやり直してみようよと言っている私がきつといます。

